

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672200120
法人名	有限会社 敬徳
事業所名	グループホームかいもん
所在地	鹿児島県指宿市開聞十町1330-1 (電話) 0993-27-2110
自己評価作成日	平成27年3月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・ご本人様の残存機能を活かした作業を、本人の役割として自信を持って行って頂くことを基本としており、家庭的な雰囲気を損なわないよう笑顔で過ごせる環境づくりに努力している。
- ・「今日も笑って過ごしましょう」を合言葉に一日の生活が始まり、利用者様が孤立することが無いよう常にスタッフが声掛けをしており、自由に過ごされている。
- ・利用者様とご家族の関係を大切にしており、面会を通じて会える喜びを少しでも感じて頂けるよう両者の橋渡しをして安心して頂いている。
- ・少しでも利用者様、ご家族のお役に立てたらという思いで、スタッフ一同、試行錯誤を重ねながら支援をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・薩摩半島最南端に位置する指宿市市街地、「薩摩富士」と称される開聞岳の麓に位置するホームである。1年を通して温暖な気候で、池田湖や唐船峡のソーメン流し、開聞山麓ふれあい公園では家族連れなどがキャンプをしたり、いぶすき菜の花マラソン・マーチなどのイベントなども開催される風光明媚な地域である。
- ・ホームは、開聞の中心地にあり、近隣に神社や病院、スーパー、コンビニ、小学校や授産施設、銀行、郵便局、支所などがあり幹線道路に近い利便性のより場所に母体の介護付有料老人ホームや障がい者ホームなどと併設されている。
- ・防災訓練は、消防署立会いの下、有料老人ホームと合同で実施し、夜間帯は、法人や町内会の協力体制も築いている。また、備蓄も確保されている。
- ・かかりつけ医は、本人や家族が希望する医療機関となっており、外来のリハビリに行かれる方の送迎や精神科受診など家族の協力をもらいながら適切な医療が受けられるよう支援している。また、重度化した場合は段階に応じて早めに相談し、十分な説明をおこない、関係者間で話し合い、施設や医療機関などを紹介している。
- ・利用者は、独居高齢者も多く家族が遠方に居住している場合には、電話などで近況を知らせたりして家族との絆を大切にして地域で安心して暮らせるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を、管理者・職員で意見を出し合い作りあげている。また、毎朝のカンファレンス時に理念を唱和し職員一人ひとり意識付け、日々のケアに活かしている。	ホームの理念は、職員全員で話し合い見直しをしている。毎朝、唱和し理念に基づいたケアの実践をおこない、職員に浸透している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として、6月灯や神社祭り、運動会、行事等、地域活動に参加し地元の人々と交流することに努めている。	町内会に加入し、行事を通じて地域の方々と交流している。定期的に大正琴の慰問もあり、中学生の職場体験、ボランティアの受入れなど柔軟に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議において、認知症の理解を深め、支援の方法を知っていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回開催。利用者や事業所の現状を理解していただくように努め、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に行われる会議では、ホームの取り組みや入所の状況、ヒヤリハット報告やサービスの状況などの話し合いをおこない、助言やアドバイスをもらうなどして、サービスの向上に活かしている。管理者は、家族の参加が難しい状況を理解しており、家族が会議に参加しやすい工夫を検討中である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席をお願いし、事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝えている。	市担当者とは、電話やメールで報告や相談をしている。連絡や研修会の誘いはメールで案内を受け、担当者と連携して、協力関係を築いており、サービスの向上に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会や研修で学び、身体拘束となる具体的な行為を理解するよう努めている。また、現状を把握し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	内部研修を定期的におこない、知識や技術の研鑽をかさねて、外部研修会にも積極的に参加している。ふいに外出される方がおられるので、職員と一緒に戸外を散歩したりして気分転換をしている。なるべく鍵をかけないケアに取り組んでいるが生命や安全を第一に考え職員間で話し合い、身体拘束をしない暮らしに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修などから、高齢者虐待の知識を身に付け、虐待のない介護に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や研修で、権利擁護に関する制度の理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、ご利用者、ご家族様に不明な点が残らないよう話し合い、十分な説明を行うことで、理解・納得していただけるよう心がけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や電話連絡時に報告を加え意見や要望などを尋ね、意見・要望などはケア会議にて話し合い運営に反映させている。	利用者には、日頃の生活の中で意見や要望など聞き取るようにしており、家族からは、面談して聞き取るよう努めている。年4回「かいもん便り」を作成し、利用者の暮らしぶりを知ってもらい本人や家族が意見や要望などを出しやすいよう配慮し、出された意見は、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は職員会議で聞いている。内容によっては、その場で話し合い反映することが可能である。	月1回、全員で意見交換する職員会議を利用したり、必要に応じて職員と面談して意見や要望を聞く機会を設けている。シフト変更した事例や毎月個人の目標の達成に向けての取り組みもあり、出された意見などは、業務の改善やケアの工夫などに活かされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	子育て中の職員に対しては全員が協力して緊急時に対応している。給与ももっと上げて喜ばせたいところだが思うように出来ないでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自設研修も毎月行い、基本的な技術や初心を思い起こせるように努めている。又、資格者や熟練者によって研修を行ったり、現場では学びながら介助出来ている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や介護支援員は交流の場での情報交換をしているが、職員訪問も話だけで終わっている現状がある。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の訴えに対して、困っていること、不安、要望など、何を考えて何を言おうとしているのかできる限り聞き取るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話を十分に聞かせて頂き、不安を解消できるようなサービスを提供し安心していただけるよう、良い関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族が困難に思っていた事や要望に対して、まず出来るサービスを伝え出来る限り支援していく方針を伝えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の残存能力を把握した上でその都度、本人の意向に添って支援し支え合っていく。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員で本人を支えるのではなく、家族にも出来るだけ協力して頂き、共に本人を支える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方者とは電話で話す機会もあり、年賀状等を送り馴染みの人との繋がりが確認できるよう支援している。	ホームは、利用者が地域との関係性が継続していけるように、家族に協力をもらい地域行事へ参加いたり、知人宛の年賀状の支援、行きつけの理・美容院の利用、家族と墓参りに行くなどの支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールでのテーブル席は、ご本人の意向と相性の良さを客観的に見て決めており、トラブルや訴えがあればすぐに対応している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、地域内で行き会う時に、挨拶を交わしたり、近況を伝えて下さることもある。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努め、できる限り本人本位の暮らしができるよう検討している。	本人には、日常の生活の中で思いや希望、要望など聞き取り、家族にも面会時や電話などで確認するようにしている。月1回、職員全員で情報交換し、共有して本人の思いに寄り添い、本人本位の暮らしの実現に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、本人やキーパーソンであるご家族から生活歴を伺い情報収集を行うようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタル測定、食事量、排泄チェック、二週間に一度の体重測定を行い健康状態を把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人らしく暮らせるように、本人、家族、必要な関係者と話し合い、意見やアイディアを反映した介護計画の作成を行っている。	これまでの生活歴やアセスメント情報をもとにして、月1回のカンファレンスを開催し、職員全員で話し合っている。入所前の生活にも着目して、野菜作りが生きがいとなるよう本人らしい生活の実現に向けて介護計画の目標に設定し、作成もしている。また、担当者会議は、家族の都合に合わせて調整し、モニタリングは、月1回実施して、柔軟に見直しもしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入を行い、常に職員間で情報を共有し、実践・計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	それぞれに環境が違う為、ニーズに合わせた対応をしている。特に家族が遠方にいたり、独居だった人の通院や買い物等必要に応じて対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の要望に応じて出来る限り支援しているが、必要性のある人は家族が対応されている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を重視し、家族の協力を得ながら適切な医療を受けられるように支援している。	本人、家族の希望するかかりつけ医となっており、定期受診は、職員と家族が協力し連携して定期的に受診している。訪問歯科診療を利用される方もあり、他科受診などにも柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師には、日々の健康状態や情報、気づきを伝え指示を受けながら利用者が適切な受診や看護を受けれるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、またできるだけ早期に退院できるように病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階で本人や家族、かかりつけ医と繰り返し相談し合い、全員で方針を共有できるよう努めている。	入所時や早い段階から重度化した場合のホームのでき得る最大限のケアについて説明をおこない、本人や家族、主治医、関係機関と話し合っているが、現時点では、事業所には看取りの体制がなく、文書などは交わしていない。管理者は、今後、重度化や看取りについて事業所の取り組みを文書化したい考えがある。	重度化や看取りについては、段階に応じて、関係者間で十分に話し合い必要な措置を取ることが望まれる。同時に文書などで双方の意向、ケアの方向性など意思確認をおこなうことが重要であり、今後、文書化されることも望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会や研修で、急変や事故発生時の応急手当や初期対応の知識を身に付け、実践できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い、利用者の安全な避難方法を確認したり、災害時の協力は、隣接する施設にも協力をもらい協力体制を築いている。	年2回、消防署立会いで夜間想定 of 避難訓練を実施、地域や隣接した施設などの協力体制もある。施設との合同訓練では、炊き出し訓練も実施している。また、乾パンを備蓄している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに応じた、声かけや対応を行っているが、基本的にプライバシーを損ねる対応にならないように努めている。	年長者として敬い、一人ひとりの人格やプライバシーに最大限配慮しつつ、呼びかけは、利用者によって臨機応変に個別に対応、年長者として失礼のないよう声かけしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その日のレクリエーションを利用者に決めていただき実施することもある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合や、各利用者の都合を優先することもあるが、できる限り自分のペースで一日を過ごしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	こだわりや好みを尊重しながら、身だしなみを心がけ、季節や場所に適した衣類などのアドバイスをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各利用者の力に応じ、できることをして頂く。できそうな人には、職員と一緒に準備や片づけを行って頂いている。	献立は、運営者が作成しているが、利用者の好みや希望、行事食、差し入れなどの状況によって工夫している。また、他の施設の栄養士に栄養面や摂取量などについてアドバイスを受けている。運動会では、弁当を味わったり、外食は個別で楽しんでいる。下膳や茶碗、テーブル拭きを手伝われる方もおられる。地域の方から野菜の差し入れもある。	

12

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各利用者の状態に合わせ、メニューや食事の形態を変更している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの力に応じた、口腔ケアの支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、排泄の失敗がないよう声かけや誘導を行っている。	排泄チェック表で個々の排泄のリズムなどを把握し、声かけや誘導をおこない、なるべくトイレで排泄ができるよう支援している。鈴やカスタネットを活用して転倒を防止し、注意喚起して自立支援をおこなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で、排便状況を把握し看護師、主治医と連携をとり、個々にあった排便コントロールを行っている。また、レクに運動系を取り入れ予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴を行っているので、入浴開始時に声を掛け、希望に添うように曜日や順番を調整したりと、個々に応じた入浴の支援している。	あらかじめ入浴日を決めているが、必要に応じて入浴ができるよう取り組んでいる。異性介助に配慮しており、移乗介助は職員が二人でおこなうなど、安全・安心な入浴が楽しめるよう個々に応じた支援をおこなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者の体調の変化に合わせて、自室での休息や臥床を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容が変わった場合、その都度薬の説明書をもらい職員間で共有し、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、その人の力に応じた役割を担ってもらったり、希望にそった気分転換にも対応できるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気がよく利用者の体調が万全の時は希望を聞き散歩にでかけている。希望が遠方や自宅等、時には家族にも協力を求め行っている。	年間の行事計画を作り外出を支援しており、初詣、花見、神社の祭り、運動会やソーメン流しに出かけている。日常は、中庭を散歩される方、個別でドライブしたり家族に協力をもらい自宅に帰られる方など積極的な外出を支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本、職員の管理となっているが、希望にそい家族の了承を得て、小額を所持されることもある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	荷物が届いた時のお礼や、日常的な会話を電話でしたりと本人の交流関係が継続できるよう支援しているが、最近は手紙を書く行動が見られなくなった。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて、壁紙を変更したり、料理に旬のお野菜などを使用し、提供したりと季節感を取り入れている。	共有スペースには、畳部屋もあり洗濯物を片付けたりと活用している。また、中庭にも出られるようになっている。台所は、五感を意識した対面式になっていて、天井も高く、採光がある。利用者手作りの作品や職員の今月の目標が掲示されている。職員が朝刊の読み聞かせをしたり、思い思いに過ごせるようくつろげるような空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本人の落ち着く場所で、新聞を読んだりテレビを見たりなど、また気の合う同士で話をしたりと過ごされている。状況に応じて、座る場所を移動し皆様がくつろげるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、馴染みのある物や服装等、以前生活していた環境に近い状態を作り居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	居室の名称は、花と果物に分かれている。赤ちゃんの人形、テレビや冷蔵庫、毛布などの使い慣れた物を持ち込み本人が居心地よく過ごせる工夫がされている。衣替えの時期は、家族や職員がおこなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのできることを把握し、その人の力に応じた行動を見守り安全に過ごせるように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない